

| | |
|------|--|
| ◆企画名 | Welcome to ピア・コミュニティ 2018 |
| 日 程 | 2018年6月6日(水)、6月15日(金) |
| 場 所 | 6日:第2学舎2号館 C401教室、15日:第2学舎2号館 C204教室 |
| 参加者数 | 6日:15名(ピア・サポーター8名、研修生7名) 15日:22名(ピア・サポーター7名、研修生15名) |

目 的

- ・新しくピア・コミュニティに入った新生に、ピア・コミュニティやピアエリアの利用方法について知ってもらうことで、今後の活動を円滑に進める。
- ・ワークを通じて、研修生同士の交流を促すことで、各コミュニティの連携につなげる。

内 容

[コミュニティ紹介について]

ピア・コミュニティ運営本部、KU サポーターズ、KU サポートプランナー、KU コアラ、KU ブリッジの 5 つのコミュニティの活動理念や最近の活動と、現在活動休止中である i.com、ぴあかんず、ピア・スポーツコミュニティについても活動理念を紹介した。

[アイスブレイク(他己紹介)について]

研修生の緊張をほぐすことに加え、お互いのことを知るためにアイスブレイクとして他己紹介を行った。また、今後ピア・コミュニティで活動していく上で、アイスブレイクを実際に行う機会は多く、そのためにアイスブレイクとは何かということも研修生に説明した。

[ワークについて]

研修生が躊躇なく先輩に質問できるようになること、そして先輩に質問しやすい環境を作ることを目的に実施した。また、各コミュニティのサポーターや研修生と交流することで、参加者が今後ピア・サポート活動を行っていく中で継続的な交流を持てるようにする。

まずウォーミングアップとして二人組を作り、片方が何か名詞を思い浮かべ、もう一方が相手に質問を繰り返すことでその名詞を当てるゲームを行った。続いて 5~6 名のグループに分かれ、各グループに割り振られた先輩に対して研修生が質問をし、その人がどんな人物なのかを自分たちで探り、プロフィールを作成するワークを行った。最後に、各グループで作成したプロフィールを、順番に発表してもらった。

[備品説明について]

ピアエリアに戻り、備品の取り扱いなどピアエリアを使用する際の注意点について説明した。

効 果

- ・研修生に、今後のピア・サポート活動を頑張ろうと思ってもらえた。
- ・担当者以外のサポーターも参加者募集に積極的に協力したため、全コミュニティからたくさんの方の研修生に参加してもらうことができ、自分が所属するコミュニティ以外のサポーターと交流を深めることができた。

改 善 点

- ・担当者間で上手く仕事を割り振れたが、打ち合わせをもっと綿密に行う必要がある。
- ・グループでのワークだけでなく全体で交流できる企画を考える必要があった。
- ・研修生の緊張をほぐせるように何か工夫をする必要がある。

感 想

先輩と後輩が交流するという点においては成功したが、研修生同士の交流は少なかったように感じる。グループワークも多かったのですが、それとは別に全体で交流できるようなワークを行えばよりよいものにできると思う。